

「ほらほらあり♡
どうですかあり♡」

「船長があ…
お気に入り
の黒人チンポに
媚び散らかして
るところはあり♡」

「うっ……最高です…♡」





「そうですよねえー♡
だってキミイ…
粗チンの♡マゾ♡ですもんねえ♡」

「は…はい…っ…」



「はいとか言って…キモイんですけどぉ♡
顔真っ赤になってますよぉ?」

「船長が他人とシテるのが
そんなに好きなんですかねえ?」

「め…めっちゃ好きです…!!
見せてくれてありがとうございます…ッ!!」

「あはははっ♡
男としてのプライドとかあ
ないんですかキミィ♡」

「まあそういうところも
可愛いんですけどね♡」



「ていうかぁ……
ほくらほら、もつとちんちん立てないと
船長のおてて味わえませんかよぉ？」

「う……っ……もう……
これ以上勃たないです……」

「ゲッ……」

「ええー？嘘でしょー？
船長じゃこれ以上興奮しないってことですかあ？」

「いやっ、そんなことは…！」

「わざわざこんなにおっぱい押し付けてあげてるんですよ？」
船長シヨックですうー」

ムニユフ♡

「あの、興奮はしてるんですけど
…もうこれ以上勃たなくて…」

「あー…♡そっかそっか♡
君粗チンですもんねえ♡♡」

「う、うう…」



「はぁ、仕方ないですねえ♡」



「うっ…!!」

「ほおら、船長のやわらかおてで
どうですかあ〜?」

「あ…あもちいらっす…♡」



ギュ♡
ウッ♡

♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

A close-up illustration of a hand squeezing a red and black striped vibrator against a person's buttocks. The vibrator is being held in a way that it is pressed against the skin. There are pink motion lines around the hand and the vibrator, and pink heart symbols on the buttocks, indicating a pleasurable or intense sensation.

「ほらほら、船長が黒人ちんぽにご奉仕フェラしているとこ見ながらたっぷり精液作りましょうねえり♡」

「す…すっげ…♡」

「船長…相手の人のちんぽ…俺のと比べて…どう…でした…？」



「なんですかそれえー？
わざわざ傷付きに行くの
意味分かんないんですけど…」

「そんなの黒人ちゃんの方が素敵に
決まってるじゃないですか…」

「で…ですよね…♡」





「君のちっちゃりりい粗チンなんかと
比べたら可哀想なレベルですよぉ♡」

「あんまり調子に乗らないでくださいねえ？」

「ん…めんなさい…♡う…っ♡」

「……彼はねえ、凄いですよぉ
まだ彼と出会って3ヶ月位しか
経ってないはずなんですけどぉ」

「すっかり船長の弱点……
ぜんぶバレちゃって……」





「お前は俺のオナホだ…
俺専用にしてやるよ…」

「って言われながら…
何回も何回もねちっこく弱点突かれて…♡」



「船長も分かりましたっ♡専用オナホになります♡
っで媚び散らかすんですけどぉ…♡」

「愛が足りない♡とか理不尽なこと
言われながらハメ潰されちゃってえ…」



「船長のおマンコ♡
ぶっ壊されるかと思いましたよぉ♡」

「そのせいでクタクタでクタクタで…」



「それなのに君みたいなマゾ船員くんの為に
わざわざご奉仕してあげてるんですよ？」

「金払って欲しいくらいだワ♡」

「そ…それくらいならいくらでも…っ♡っう…♡」

「別にいらないですよー
冗談ですうー♡
船長儲けてるんで♡」

「君が情けなくて
面白いからやってあげてるだけですし♡」





「してくれて
…あ…ありがとうございます…♡」

「情けないってバカにされてるのに
感謝するのやばすぎでしょお♡」

「こんな弱ザコ船員持っちゃって…
船長苦労しちゃうんだワ」

「っう…♡」



「は？」

「す…すみません…船長…もう、出っ…♡」

グチャ♡
ニチ♡
グチャ♡
ニチ♡
グチャ♡
ニチ♡

『うっ♡』





「はあ...?」

「ごっごめんな...♡ううっ...おっ♡」

□オ...♡

ド

ド

ド

「:もお、早すぎませんかあ?」

「彼とは大違いですよお.....」

「ごめんなさい...♡」

クマ♡

アッ! アッ!...♡
アッ! アッ!...





「うう…♡」

「量だけはそこそ立派ですけど…
肝心のチンポがこれじゃあねえ」

モフア…♡

グットオ…♡

「それにい、馬鹿にされて射精なんて…
オスとしてどうしようもない
惨めっぷりですねぇ♡」

「チンポおつきくつてもこんなドMなんじゃあ
まともなセックス出来ませんよぉ?」

「彼にこの痴態、見せてあげたいですぅ♡」

「……!!」

クス…♡

ドキッ♡



「そ…それ…」

「ん〜？」

「それ…やってみたいです…♡」

「その人と船長がしてるとこ…
目の前で…見たいです…」

「!!」



「はぁー♡」

「いずれ言われるんじゃないかって
思ってたけどぉ…」

「……マゾ極まれり…
って感じですねえ…」

「ダメ、ですか…?」





「…別に……いいですよ……♡」

「!!」

!!



「……脳みそぶっ壊されても
責任取りませんけどね……♡」

「か…覚悟してます…♡」

「やっくん♡♡♡さあ♡
オスくっさくで最高ですう♡」

「ハハ、オマエノ為ニ洗ワナイデオイタンダヨ」

♡むわあ♡

ビキッ♡

「ダカラヨオ♡
タップリシヤブレヨナ♡」
「もちろんですう♡♡」







ズボン♡
=ブル♡

グググ♡
グググ♡



「フウー♡
最高ダゼマリン♡」

「メスブタラシイフェラ顔ガ
身ニツイテキタジャネーカ」

「あひふあほうほはいまふ♡」

「喋ッテネーデ丹念ニシヤブレ」

「ふおひ…♡」

もぐ♡

もぐ♡





「ツタク、マダマダオナホトシテノ
自覚ガ足リネーナ♡」

「コノ後タツプリ騷シテヤシネートナ♡」



ぽっ♡

ずっ♡

んも♡



フッポッ♡
ンモッ♡

♡ス♡
♡〇〇〇♡

「ヨオシ♡」

「トリアエズ1発出シトクカ♡」

「全部飲メヨ♡年増メスブタ♡」

ドキッ♡



「出スゼッ♡」

ググ...♡♡







「んもう、出し過ぎですぅ♡
ぶっ濃くて船長窒息するところだったじゃないですか♡」

「ソノツモリデ出シテヤツタンダケドナ♡」

ハッ♡



「マダ萎エテネエカラ
モット付キアエヨメスブタ♡」

「もちろんですよぉ♡♡」

